

■科目名			
自閉症児等教育総論			
Educating children with autistic spectrum disorders			
■開設年度	■区分	■学科名	■分類
2021	専修専門科目	特別支援教育	
■単位数	■履修期	■履修条件	■開講期
1	5期		前
■担当教員			
片岡 美華			
■代表教員名及び連絡先等			
kataoka@edu.kagoshima-u.ac.jp			
■オフィスアワー			
木曜日14:45～15:45（質問は随時受付）			
■講義の概要（目的・内容・方法）			
【目的】 自閉スペクトラム症の特徴を理解し、障害特性に応じたさまざまな指導方法に関する知識を習得することを目的とする。また、得た知識を活用して、個に応じた指導方法を考えるための手だてがわかることを目指す。 【内容】 自閉スペクトラム症に関する用語の整理、各語の定義、歴史、研究の到達点について概説したうえで、自閉スペクトラム症の子どもの特徴や認知特性を理解していくための基本的な考え方を示す。そして、具体的にどのように指導をすればよいか、認知やコミュニケーションに焦点をあてた自閉スペクトラム症児者の発達の理解と支援について概説する。また実践例や自閉スペクトラム症を取り巻く課題にも触れ、理解を深めていく。なお講義では、視聴覚教材を用いることで、理解を補えるようにする。			
■授業の到達目標及びテーマ			
【授業の到達目標】 1) 自閉スペクトラム症の特徴を理解し、説明できる。 2) 自閉スペクトラム症児を指導するための視点を示し、どのように手だてを考えていけばよいか言える。 【テーマ】 1) 自閉スペクトラム症の理解 2) 自閉スペクトラム症児への指導と考え方			
■授業計画			
1) 自閉症とは何か、自閉症研究の概歴 2) 自閉スペクトラム症の定義と障害特性 3) 高機能自閉症・アスペルガー障害の子どもの理解と支援 4) 自閉スペクトラム症児の理解と支援(1) 一発達の理解の視点から 5) 自閉スペクトラム症児を取り巻く課題と支援 (1) 一進路問題と高等教育 6) 自閉スペクトラム症児を取り巻く課題と支援 (2) 一家族支援と社会的自立 7) 自閉スペクトラム症児の理解と支援(2) 一事例をもとに支援を考える 8) まとめと確認試験			
■授業外学習（予習・復習）			
予習では、自閉スペクトラム症関連の書籍等を読んでおくこと。 復習では、授業で学んだことを中心に、与えられた課題に沿ってミニレポートにまとめること。復習を中心に学習を行い、用語や考え方の整理を行うとともに、自らの考えをミニレポートにあらわすこと（目安：90～120分程度）。			
■受講要件			
発達障害を扱う観点から、前半の「LD・ADHD等教育総論」とセットで履修することを原則とする。			
■成績の評価基準			
授業中に課すミニレポート（30％）の内容と、最終課題（試験）（70％）により総合的に評価する。ミニレポートの提出をもって、出席確認とする。規定回数以上欠席した場合は、試験の受験資格がなくなるので注意すること。試験は、持ち込み可の記述式による。期末試験は「LD・ADHD等教育総論」と同時間に行う。			

* レポートの提出、記述式試験にあたって特別な配慮が必要な場合は、前もって相談に来ること。

■教科書・参考書

授業中に適宜資料を配布する。

参考書：白石正久『自閉症児の世界をひろげる発達の理解』かもがわ出版 2007年

■教師としての資質能力に関するチェック項目

3. 教育方法に関する理解

【A教職の理解】教育方法の理論に関する理解を深め、複式指導や少人数指導、教材開発や活用、授業分析など、指導法や授業改善について理解している

6. 保護者・地域社会との連携力

【B連携協働力、自己改善力の育成】学校と家庭や地域社会との連携・協力の在り方について、基本的な理解を深め、自ら連携・協力しようとする態度を身に付けている

9. 学習者の心理・発達に関する理解

【C学習者理解】子どもの発達や心理など、子ども理解のための基礎的な知識を身に付けており、それらを生かして子どもの発達を分析することができる

11. 特別支援教育に関する理解

【C学習者理解】特別支援教育に関する基本的な知識を身に付けており、それを生かした具体的な指導・支援の在り方を構想することができる

16. 情報収集力、分析力、活用力

【D構想力、展開力、評価力等】情報を収集し、整理・分析することを通して、その情報を活用していくことができる

アクティブ・ラーニング

振り返り(ミニッツ・ペーパー等)；

その他；

アクティブ・ラーニング(その他)

事例検討

アクティブ・ラーニング(授業回数)

8回中7回

■実務経験のある教員による実践的授業

特別支援教育士ならびに臨床発達心理士として行っている臨床経験を事例研究に盛り込むなどして、現場での課題を身近に感じ、検討できる力を養成する。

■その他

視聴覚教材を用いることから、可能な限り対面授業を行うことを考えていますが、状況により進め方は変更することがあります。